

令和3年度教育研究活動報告書

氏名	灰谷謙二	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	修士（文学）	職位	教授
専門分野	日本語学（現代語）		

I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	日本語学概論、日本語学講義Ⅱ、日本語学講義Ⅳ、現代語学専門演習 a、現代語学専門演習 b、卒業論文（構想・準備）		
大学院	日本語学特講、日本語学演習、日本音律特論、日本文学・言語文化総論、研究指導（論文指導）		
II 研究活動			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）『瀬戸内海言語図巻』の追跡調査による音声言語地図の作成と言語変容の研究 基盤研究B 研究代表者 友定賢治 研究分担者 2017~2021 2021-2025			
（2）岡山・福山地区の社会言語学的調査研究（ND清心尾崎教授との共同研究）			
（3）国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」参画			
本年度を含む過去3年間の研究業績 R3・R2・R1			
R3	〈論文〉方言研究支援プロジェクトを振り返る『方言の研究7』2021.7 共著		
R2	〈論文〉福山市民の言語使用と言語意識に関する調査報告『清心語文』(22), 2021.2（ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会）共著		
R2	〈論文〉学科専門教育課程における「学びのプラットフォーム」構築の試み-学修データベースの構築と活用可能性に着目して-2021年3月 共著（塚本真紀・藤本真理子・小畑拓也）		
H30以前の主な研究業績			
（1）〈論文〉「田畑からの帰り道でのあいさつ」にみられる表現発想と都市化 『柳田方言学の現代的意義 あいさつ表現と方言形成論』ひつじ書房（H26/7）			
（2）〈論文〉小津安二郎『東京物語』における尾道方言使用の意味 『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第12号 2013			
（3）〈論文〉海上ネットワークにおける言語伝播-半陸半海環境がもたらす伝播のメカニズム- 『方言の研究4』 特集方言研究のネットワーク 日本方言研究会2018.9			
（4）〈著書〉『これが広島弁じゃ!』2016.12洋泉社（監修）			
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）R1・R2・R3			
所属学会・所属団体 役職等と任期			
日本語学会・日本方言研究会世話人（理事相当、編集委員会副委員長〜）・日本音声学会・広島大学国語国文学会			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
（1）りじょう福祉会りじょう保育園理事			
（2）広島女学院大学非常勤講師			
（3）尾道市立図書館協議会委員			
（4）林芙美子顕彰会（日文学科長あて）			
公開講座	1 回		
講演会	回		
出前授業	2 回		
（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入）			
安田女子大学博士論文審査委員、教養講座第三回 ちゅピCOMおのみちでのケーブル放送			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道市立図書館協議会	委員	1回